



2025 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名：古河機械金属株式会社
代表者名：代表取締役社長 中戸川 稔
(コード番号 5715 東証プライム市場)
問合せ先：取締役上級執行役員 経営企画部長
今野 光一郎
(TEL 03-6636-9501)

会 社 名：川崎重工業株式会社
代表者名：代表取締役社長執行役員 橋本 康彦
(コード番号 7012 東証プライム市場・名証プ
レミア)
問合せ先：執行役員
コーポレートコミュニケーション総括部長
鳥居 敬
【東京】TEL 03-3435-2130
【神戸】TEL 078-371-9531

**株式会社アーステクニカ株式の譲渡の検討を開始する
基本合意書の締結について**

古河機械金属株式会社（代表取締役社長 中戸川稔、以下「古河機械金属」といいます。）と川崎重工業株式会社（代表取締役社長執行役員 橋本康彦、以下「川崎重工」といいます。）は、古河機械金属と川崎重工の破碎機事業の拡充・発展を目的として、川崎重工の子会社で破碎機事業を行う株式会社アーステクニカ（以下「アーステクニカ」といいます。）の株式を古河機械金属に譲渡すること（以下「本株式譲渡」といいます。）に向けて協議及び交渉を実施することに関する基本合意書（以下「本基本合意書」といいます。）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

古河機械金属は、鉾山で培われた長年の機械技術を背景に国内外の社会インフラ整備を支える機械事業をコア事業として位置づけ、企業価値向上に取り組んでおります。

アーステクニカは、インフラ需要に必要不可欠な建設資材である碎石分野、循環型社会に貢献する廃棄物のリサイクル分野、医薬品や食品業界など様々な分野で破碎・粉碎・選別の優れた技術をもち、高い評価を受けております。

古河機械金属は、本株式譲渡により、アーステクニカの優れた技術力と顧客の信頼を獲得し、自らの産業機械部門における破碎機事業の技術力、生産性及びコスト競争力、顧客サービスの飛躍的な向上を図ることができ、国内碎石業界の発展に寄与することが可能となります。

また、近年の地球環境保護の気運の高まりを受け、アーステクニカの主力分野に成長した環境リサイクル分野にも経営資源を投下し、地球環境保護に貢献していきます。

更に、世界の鉱山・碎石市場において、古河機械金属はロックドリル部門の事業に関し、アーステクニカは大型の鉱山機械に関し、多くの納入実績と知名度を有しており、両社がもつ販売・サービスネットワークを融合して、事業領域を拡大（鉱山・碎石の上流から下流まで）することで海外事業が強化され、海外市場においても大きなシナジー効果が期待できます。

以上の通り、アーステクニカの全株式譲渡に至る際には、古河機械金属は、アーステクニカを中核事業会社として迎え入れ、親和性のある古河機械金属グループの機械事業とのシナジー追求ならびに経営資源の投下により、古河機械金属の機械事業とアーステクニカの事業がより強化・拡充され、その結果お客様のご要望に一層応えていくことができると確信しております。

なお、本件の概要は別紙の通りです。その他詳細は決定次第お知らせします。

以上

本基本合意の概要

1. 本株式譲渡の対象となる会社

川崎重工の子会社であるアーステクニカとその子会社を予定しています。

2. 本株式譲渡の方法

本株式譲渡は、川崎重工が保有するアーステクニカが発行する全株式を古河機械金属に譲渡するものですが、二段階に分けて実行し、古河機械金属は、一段階目の株式譲渡により、アーステクニカが発行する過半数の株式を取得し、二段階目の株式譲渡により残りの全株式を取得する予定です。

3. アーステクニカの概要（2025 年 3 月期）

社名	株式会社アーステクニカ
設立	1987 年 6 月 15 日
本社所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町二丁目 4 番地
代表者	代表取締役社長 西 昌彦
事業内容	1.土木工事、建設工事、管工事、機械器具設置工事、清掃施設工事、電気工事、鋼構造物工事の設計、施工、監理。2. 破碎機、粉碎機、選別機、摩砕機、乾燥機、粉体機器およびこれらに係わるプラント等の設計、製造および販売。3. 建設廃棄物、産業廃棄物、一般廃棄物等のリサイクル用機器およびこれらに係わるプラントの設計、製造および販売。4. 耐摩耗・耐熱等鑄造製品の設計、製造および販売。5. 前 2 号、3 号および 4 号に記載の製品の補修部品、予備品の製造および販売。6. 前各号に記載する製品の据え付け、保守・点検および修理、操業、維持管理に関する業務。7. 前各号記載に付帯関連する一切の事業。8. 前 2 号、3 号に定める物品の古物売買。
資本金	1,200 百万円
従業員数	336 人
株主	川崎重工業株式会社 100%

4. 基本合意書締結当事者の概要（2025 年 3 月期）

名称	古河機械金属株式会社	川崎重工業株式会社
本社所在地	東京都千代田区大手町二丁目 6	神戸本社

	番 4 号	〒650-8680 兵庫県神戸市中央区東川崎町 3 丁目 1 番 1 号 東京本社 〒105-8315 東京都港区海岸 1 丁目 14 番 5 号
代表者	代表取締役社長 中戸川 稔	代表取締役社長執行役員 橋本 康彦
事業内容	機械事業： 1. 産業機械、鋼構造物、橋梁等の製造販売およびサービスならびに各種工事の請負 2. 油圧ブレーカ、ブラストホールドリル、トンネル工事鉋山用機械等の製造販売 3. ユニツククレーン、ミニ・クローラークレーン等の製造販売 素材事業：1. 銅、金等の委託製錬・販売 2. 高純度金属ヒ素、結晶製品等の製造販売 3. 硫酸、亜酸化銅等の製造販売 その他：不動産、運輸、金属粉体、鋳物等事業	航空宇宙システム事業、エネルギーソリューション&マリン事業、精密機械・ロボット事業、車両事業、パワースポーツ&エンジン事業およびその他事業
設立	1918 年 4 月 15 日	1896 年 10 月 15 日
資本金	28,208 百万円	104,484 百万円
純資産	133,572 百万円	725,064 百万円
総資産	257,107 百万円	3,016,951 百万円
大株主および持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 11.43% 朝日生命保険相互会社 6.70% 清和総合建物株式会社 5.46%	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 15.01% 株式会社日本カストディ銀行（信託口） 8.09% 日本生命保険相互会社 3.42%

（注）大株主および持株比率は、2025 年 3 月 31 日時点における大株主の株主名簿上の株式数、発行済株式数（自己株式を除きます。）によって記載しております。

（注）持株比率は小数点以下第三位を四捨五入しております。

5. 本株式譲渡の日程

2025 年 5 月 13 日 基本合意書締結

2025 年 12 月下旬(予定) 最終契約締結

2026 年 4 月 1 日(予定) 一段階目の株式譲渡 (古河機械金属による連結子会社化)

2027 年 4 月 1 日(予定) 二段階目の株式譲渡 (古河機械金属による完全子会社化)

(上記は現時点での予定であり、両社の今後の協議により変更する場合があります。また、本株式譲渡の実施に必要な許認可に係る手続その他の事情により、本株式譲渡の日程が変動する事由が生じた場合、又は本株式譲渡の検討を中止する場合には、速やかに公表します。)

6. 今後の見通し

本株式譲渡による古河機械金属及び川崎重工の業績への影響等につきましては、明らかになった段階でお知らせいたします。

以上